



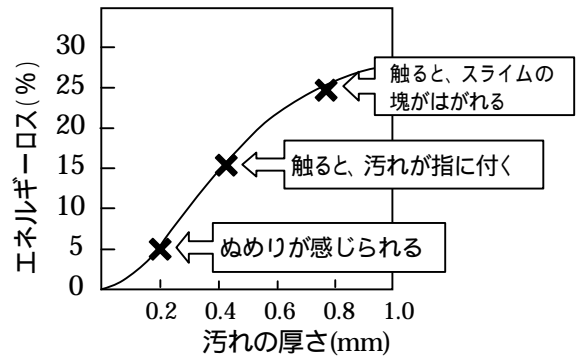
発行者

ホームページ <http://www.kurita.co.jp/>

今月のテーマ 高効率ターボ冷凍機は水処理が重要です！

< 冷凍機の高効率化 >

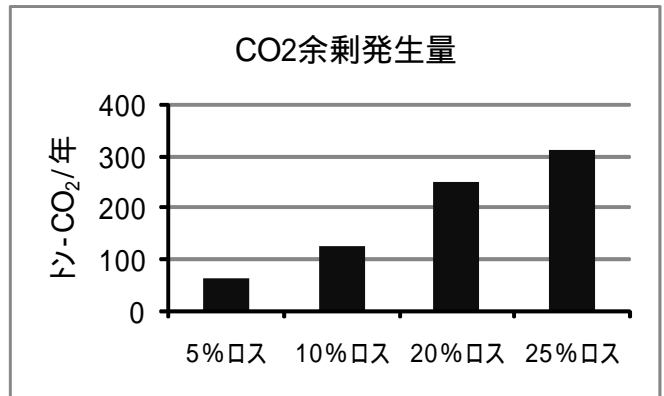
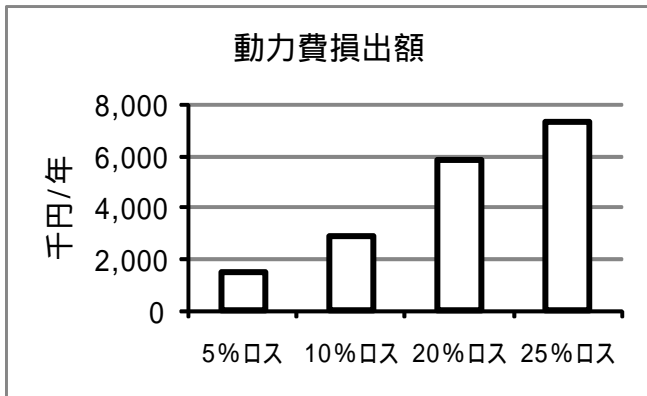
近年ユーティリティコスト削減(省エネルギー、CO₂削減)のため、定格COPが6.0を超える高効率ターボ冷凍機の導入事例が増えてきています。この様な高効率ターボ冷凍機は、熱交換効率を向上させたことで汚れによる影響を受けやすく、エネルギーロスを生じているケースがあります。ユーティリティコスト削減を実現するためには『汚れを付着させない処理』が重要となります。



< 汚れが付着すると >

汚れが付着した熱交換器は、熱交換効率が悪化しエネルギーロスが生じてしまいます。付着した汚れはわずかな厚さでも大きなエネルギーロスとなります。例えば1,000USRTの場合では、ぬめりが感じられる程度のわずか0.2mm厚の汚れでも5%のロスが生じて年間ですると1,500千円もの損失になります。

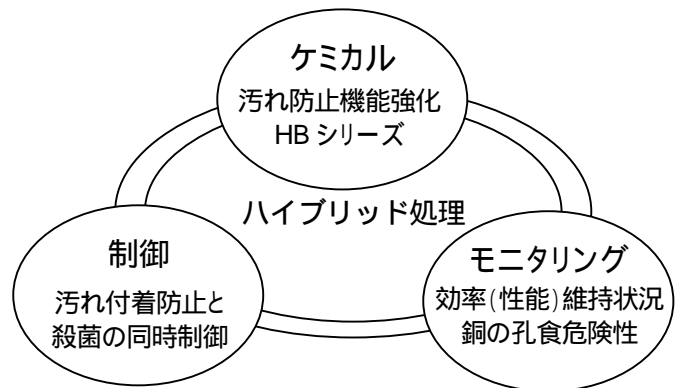
高効率ターボ冷凍機のエネルギーロスによる年間損出(1,000RT, 年間6000時間稼働, 60%負荷)



< 汚れを付着させない水処理 >

ユーティリティコスト削減を実現するためには、汚れの付着によるエネルギーロスがなく、冷凍機を最高性能の状態に維持することが重要です。

クリタでは、ケミカル・制御・モニタリングを組み合わせることで冷凍機のピカピカ状態を維持するハイブリッド処理をお勧めしています。エネルギーロスを生じさせることなく冷凍機を最高性能で維持するとともに、開放点検や洗浄回数を減らすことが可能になるためメンテナンスコスト削減にもなります。



ぜひこの機会にご検討ください。

本資料に関するお問い合わせ、資料請求などがございましたら、上記連絡先までお気軽にご連絡ください。

- 以上 -